

福井県障がい者福祉計画 令和7年度の主な取組方針

1 共に生きる社会の実現

(1) 出前講座の実施

- ・障がい者差別の解消や合理的配慮等について、学校や事業者に出向き講座を実施。(障がい当事者講師が大変好評であり、謝金予算を増額)



共生社会について、遊びながら学習
 (「福井県共生社会かるた」を活用)



障がい当事者講師による講座

※囲み内の写真は、令和6年度実績(以下同じ)

(2) 改正障害者差別解消法の周知

- ・合理的配慮に関する好事例「できルール」について、当事者の意見等を聞きながら分かりやすく説明するパネルを作成、事業者等に向け情報発信
- ・障害者週間を捉え、県民への啓発活動を引き続き実施



「できルール」パネル展



障害者週間における街頭啓発

(3)「共生社会推進タウンミーティング」の開催

- ・県内各地区で引き続き実施



2 自分らしく活躍し、生き生きと生活する

(1)障がいのある方の幸せ就労の推進

- ・デザイナーと協働し、付加価値やデザイン性の高い新商品の開発
- ・障がい者就労の情報をまとめたWEBサイトの拡充
- ・県内外におけるプチフクション！フェスの開催
- ・官公庁や企業等に対し、障がい者施設への優先発注を推進
- ・農福連携ビジネスコンテストの開催
- ・農業者と就労事業所による地域交流会、農福商談マルシェの開催
- ・農林水産業分野で障がい者を受け入れるための環境整備の支援
- ⑧障がい者就労施設の生産性向上に向けた設備導入を支援

(2)一般就労に向けた支援

- ⑧障がい者就労・生活支援センターの丹南圏域への増設
(現在は、福井坂井・奥越・丹南の3圏域で1か所、嶺南圏域で1か所)

(3)文化芸術活動の充実

- ・障がい者アート展を実施
- ・福井県障がい者芸術文化活動支援センター(ふくみなーと)の活用
- ・障がい者アートを活用した商品プランコンテストの実施



3 障がい特性に応じて適切に支え合うための環境づくり

(1)障がい福祉・医療を支える人材確保

- ・高校生を対象に障がい福祉事業所の若手職員による「福祉のしごと」をテーマにした魅力発信・職業紹介パネルディスカッションを実施
- ・若者層をターゲットに障がい福祉の魅力を発信する動画広告を配信
- ・県内外の大学生等を対象に、県内障がい福祉事業所での有償インターンシップを実施
- ・障がい福祉事業所における高齢者等の短時間就労(ちょこっと就労)を促進
- ・介護職員の負担軽減を図るための介護ロボットや ICT 機器の導入を支援
- ⑧障がい福祉事業所の生産性向上や人材育成等に関する課題の解決に向けたワンストップ相談窓口を設置、専門家の派遣
- ・医療的ケア児者への支援を総合調整するコーディネーターの養成、医療的ケア児者に対応できる医師や看護師等の養成
- ・医療的ケア児者に関する医療・看護・福祉等の理解を深めるためのシンポジウムを開催
- ⑨介護福祉士等を目指す学生や外国人に対し、就学資金等の貸付
- ⑩海外の現地育成機関と連携し、現地の外国人材を対象とした障がい

福祉分野の基礎研修を実施、本県で働く外国人材を対象とした技術向上研修を実施、外国人材を受け入れる事業所を対象とした管理者向け研修を実施

- ⑧ 専門相談員による外国人材受入事業所への巡回・オンライン相談を実施
- ⑨ 生産性向上や業務効率化、職場環境の改善に必要となる経費を支援し、職場の離職防止・職場定着を促進
- ⑩ 障がい福祉サービス事業所等が協働で行う人材の確保・経営の安定化に向けたモデル的な取組みを支援

(2) 障がい児の地域療育体制の充実

- ⑧ 各市町における社会資源の整備状況等の調査・分析し、市町や関係機関等への助言等を実施
- ⑨ こども療育センター職員が地域の障がい児通所支援事業所等に出向き、職員に適切な療育方法を指導
- ⑩ 地域で拠点となる医療機関において、家族等が発達の特性の基礎知識や関わり方等を学ぶ家族支援プログラム講座を開催
- ・難聴児を受け入れる児童発達支援センター職員の資質向上を図るための巡回指導を実施

(3) 障がい児者の家族への支援

- ⑧ 各市町における社会資源の整備状況等の調査・分析し、市町や関係機関等への助言等を実施(再掲)
- ⑨ 医療的ケア児の家族のレスパイトを行う事業所に対し、看護師人件費相当分を支援
- ・緊急時の受入れ等に対応する地域生活支援拠点等の整備・運営に関して適切なアドバイスを行うアドバイザーを市町に派遣

(4) 相談体制・ピアサポートの充実

- ・各地域自立支援協議会や相談支援専門員が地域の課題を持ち寄り、共有し、解決方法を検討するネットワーク連絡会を開催
- ・各市町での基幹相談支援センターの整備に向けてアドバイスを行うアドバイザーを派遣

- ・障がい当事者が講師となり、障がい福祉事業所職員を対象としたピアサポート養成研修を実施

(5) 高齢化対策の充実

- ・各地域自立支援協議会において、移行に関する制度周知や地域内の社会資源の情報共有を実施
- ・障がい福祉事業所における「共生型サービス」を推進

(6) 医療的ケア児者・重症心身障がい児者への支援

- ① 医療的ケア児者支援センターの運営、嶺南に相談支援拠点を設置
- ・医療的ケア児者への支援を総合調整するコーディネーターの養成、医療的ケア児者に対応できる医師や看護師等の養成(再掲)
- ・医療的ケア児者に関する医療・看護・福祉等の理解を深めるためのシンポジウムを開催(再掲)
- ② 医療的ケア者のグループホームの整備を促進し、親亡き後も見据え安心して生活できる環境を整備
- ・医療的ケアが必要な重度障がい児者の受入れ拡大に必要な施設改修・設備整備等を支援
- ③ 医療的ケアが必要な重症心身障がい児者の受入や送迎、入浴サービスを提供する事業者を支援(支援単価の引き上げ)
- ④ 医療的ケアのない障害支援区分6の重症心身障がい者に入浴サービスを提供する事業者を支援
- ・訪問看護サービスの延長利用や訪問看護事業所から短期入所事業所へ看護師を派遣した際の経費を支援
- ⑤ 人工呼吸器など命に直結する機器に頼らざるを得ない医療的ケア児者に対して、非常用自家発電装置や外部バッテリー等の購入経費を支援

(7) 強度行動障がい児者への支援

- ① 県自立支援協議会の事業部会に、「強度行動障がい地域支援体制推進部会」を設置
- ② 県内の強度行動障がい児者支援の中心的な役割を担う広域的支援人材や中核的人材を養成、支援者同士の繋がりを構築するための事例

検討会の開催

- ⑧調整会議を開催し、集中的支援を実施するケースの優先順位や支援方法等を検討し、障がい福祉事業所へ専門チームを派遣(年度後半)
- ・強度行動障がい児者の受入れ拡大に必要な施設改修・設備整備等を支援

(8) 発達障がい児者支援の充実

- ・こども療育センターとスクラム福井の連携強化による、発達障がい児の早期発見・早期支援
- ・発達障がい者サポーターの育成と相談支援体制の整備等

(9) ひきこもりへの支援

- ・ひきこもり支援機関の周知や職員研修による資質向上により、市町に對する困難案件への後方支援を強化
- ・自宅以外で安心して過ごせる「フリースペース」の設置を促進

4 安心・安全に暮らせるまちづくり

(1) ⑧民間施設のバリアフリー化への支援

- ・商業施設等に対してバリアフリー設備等の整備に対する支援を実施

令和7年2月からは、医療機関や金融機関など県民の暮らしに直結する施設を支援対象に追加(不特定多数が利用しない施設への整備は対象外)



美容室へのスロープの設置



障がいのある方の運転を周知

(2) 県有施設の点字ブロックの改修

- ・引き続き、点字ブロックの改修を集中的に実施予定



(3) 県福祉のまちづくり条例整備基準の見直し検討

- ・国におけるバリアフリー法の整備基準等を精査し、意見を聞きながら、基準の見直しについて検討

(4) 心のバリアフリーの推進

- ・県内共通の「ハートフル専用パーキング利用証」の交付
- ・「ヘルプマーク」の交付・周知啓発



- ・ハートフル専用パーキング協定施設の拡大



階段が
使えるようになる。
自分で行ける
お店になる。

ある日、足の不自由なお客様から、「階段に
手すりがないとツライ」とご要望がありました。
ちょうどタイミングよく、県から補助金の案内が
来ていたので活用。駐車場から本館へつながる
2ヶ所の階段に手すりを設置しました。



ショッピングティベル(福井市)

「手すりをつける」という、一歩。



すぐ
そこにある入口を、
すぐ
たどり着ける入口に。

従来から障がい者用駐車場はありましたが、
現在より遠く、また車道を挟んだ場所にありました。
お客様のご要望もあり、入口近くに移転し
「ハートフルパーキング」に変わりました。



パリオCITY(福井市)

 ハートフルパーキングの適正利用にご協力をお願いします。

「駐車場を近づける」という、一歩。

お店や会社が、できることから始めるルール。



できルール

福井県 健康福祉部 障がい福祉課

[詳しくはこちら](#)



ご存知ですか? 改正障害者差別解消法により、民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されました。

お店や会社が、できることから始めるルール。



できルール

福井県 健康福祉部 障がい福祉課

[詳しくはこちら](#)



ご存知ですか? 改正障害者差別解消法により、民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されました。



一つずつ、
「できない」を
「できる」へ変えていくと、
カットができる。



「髪が伸びた」=「切る」。そんなふうに捉えていない子どもたちがいます。だから、「お店に入る」「座る」「クロスをかける」など、無数の段階を一つずつ必要なこととして受け入れてもらい、できることを増やし、家族と一緒にカットを進めています。



美容室MOK(福井市)

「ごまかさず、向き合う」という、一歩。

お店や会社が、できることから始めるルール。



できルール



福井県 健康福祉部 障がい福祉課

[詳しくはこちら](#)



ご存知ですか？ 改正障害者差別解消法により、民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されました。



電車やホームが
支えられないなら、
人が
支えていく。



全方向の障がいに応えるため、事前にご連絡いただいた場合の介助などを行っています。また、受付や対応方法について全社員が教育を受けています。常に多様なお客様の視点に立ち、今日のお客様にご満足いただけるよう努めています。



ハビラインふくい

「まずは、人が支える」という、一歩。

お店や会社が、できることから始めるルール。



できルール



福井県 健康福祉部 障がい福祉課

[詳しくはこちら](#)



ご存知ですか？ 改正障害者差別解消法により、民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されました。



伝える・伝わる手段を
考える。
それは、分かり合う
時間になる。

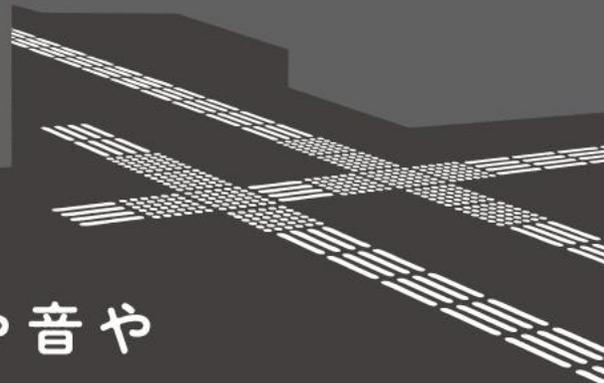
聴覚障がいのあるスタッフが乗る車に「耳マーク」を設置し、声の呼びかけでは伝わらない現状を周囲へ伝達。また、声を文字に変換するアプリを使用したり、より大切なことは紙に書いて渡して伝えたりしています。



↑耳マーク一箇こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。

クリーンサービス光明(鯖江市)

「みんなで理解する」という、一歩。



点字や音や
感触で、
生きていく力を
身につける。

県内唯一の視覚障がい者のための学校。
拡大読書器や、廊下の点字ブロック、音声誘導など
いろいろな校内の設備が、それぞれの「見えない」
「見えにくい」に合わせ、その先の状況を
知らせます。出かけることが楽しい毎日へ。



中央の廊下
廊下を左右に分ける突起、
反響で確認できる。

点字ブロック
点字の突起で点字化
場所や目的地を誘います。

白黒カレンダー
黒背景にすることで、
確認しやすくなる。

福井県立盲学校(福井市)

「“こうすれば前に進める”を伝える」という、一歩。

お店や会社が、できることから始めるルール。



できルール

福井県 健康福祉部 障がい福祉課

詳しくはこちら



ご存知ですか？ 改正障害者差別解消法により、民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されました。

お店や会社が、できることから始めるルール。



できルール

福井県 健康福祉部 障がい福祉課

詳しくはこちら



ご存知ですか？ 改正障害者差別解消法により、民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されました。



緊張する。
それは、
お店が頑張って
近づこうとするから。

多様な精神疾患から社会生活のしづらさを抱えている方の、職業復帰をサポートしています。人と関わりながら仕事をすることは、とても緊張することです。一定の距離と適切な休みを大切に、働く自信をゆっくり育てています。



秋万継続支援A型事業所 C&Cサービス(坂井市)

「一定の距離感を保つ」という、一歩。



「おいしかった」
には、
「普通に入店できた」が
入ってる。

例えば車椅子や杖歩行でゆっくりと入店されるお客様ならば、自動ドアを開放する。車椅子のお客様が席を決められたら、お店の椅子を外す。さりげない接客を心がけています。大切なのは笑顔でうどんを食べてもらうことです。



手打ちうどん 新富(坂井市)

「さりげない柔軟な対応」という、一歩。

お店や会社が、できることから始めるルール。



できルール



福井県 健康福祉部 障がい福祉課

[詳しくはこちら](#)



ご存知ですか？ 改正障害者差別解消法により、民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されました。

お店や会社が、できることから始めるルール。



できルール



福井県 健康福祉部 障がい福祉課

[詳しくはこちら](#)



ご存知ですか？ 改正障害者差別解消法により、民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されました。



座りたい
のは、
車椅子専用ではなく、
自分で選んだ席。

いろんな人が来れるカフェにしたい思いがありました。テーブルは車椅子の高さに合わせ、動かせる仕様に。玄関は段差をなくしました。トイレは引き戸で広々空間へ。目指したのは、みんながくつろげる場所でした。



カフェJU・JU(福井市)

「自分の選択」を支える」という、一歩。



対話を
続けること。
向き合えば、
必ず、前に進める。

話し言葉や文字によるコミュニケーションに不安のあるお客様に、コミュニケーションボードでのご案内や、障がいのある方などへの理解を深めるためユニバーサルマナー研修を受けています。



銀行用コミュニケーションボード

ユニバーサルマナー研修

福井銀行

「まずは、話をよく聞く」という、一歩。

お店や会社が、できることから始めるルール。



できルール

福井県 健康福祉部 障がい福祉課

詳しくはこちら



障がいの異なる人も安心を。

ご存知ですか？ 改正障害者差別解消法により、民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されました。

お店や会社が、できることから始めるルール。



できルール

福井県 健康福祉部 障がい福祉課

詳しくはこちら



障がいの異なる人も安心を。

ご存知ですか？ 改正障害者差別解消法により、民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されました。

誰も、ずっと強くはられないから

バリアフリーを導入すると

最大 1/2 が 補助されます

令和7年2月から **対象施設を大幅に拡大**しました！



病院・診療所



社会福祉施設



宿泊施設



金融機関



これらの施設への
ハートフル
パーキングの
整備もOK！

不特定多数の県民が利用する施設を追加

おもてなしのバリアフリー・合理的配慮推進事業補助金

A ハード整備(工事施工)



例) スロープや手すりの設置、トイレの拡張、
点字ブロックの敷設・補修等

B ソフト整備(物品購入等)



例) 貸出用車いす・簡易スロープ・筆談ボード等の
購入、点字や音声コードを用いたメニューの作成

A + B

補助率 1/2 (上限: 50万円)

B のみ

補助率 1/3 (上限: 5万円)

(A のみでの申請はできません)

交付までの流れ \ やり取りはメールと電話で完結!! /

① 交付申請書類を
県に提出

② 県から交付決定
通知書が到着後、
事業に着手

③ 事業完了後、
県に実績を報告

④ 県から額の確定
通知書が届いたら
請求書を送付

⑤ 補助金交付

※「福井県福祉のまちづくり条例」に定める「公益的施設」(不特定かつ多数の者が利用する施設およびこれに準じる施設)
ただし、従業員や入居者、区民などに利用者が特定される施設の整備や、公共施設の整備は、補助の対象となりません。

■補足事項

- 1 交付決定日以前に着手済の整備に関する支出は補助対象外となります。
- 2 年度末(3月31日)までに改修工事(または納品)およびその代金の支払が完了しているものが対象となります。



まずはお気軽にお電話ください

うちは対象になる？

書類の作り方を教えて！

☎ 0776-20-0338

平日 8:30-17:15

〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1 福井県健康福祉部障がい福祉課共生社会グループ
Email: syogai@pref.fukui.lg.jp HP: <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/shougai/barrierfree/omotenasi.html>

詳細や各種様式はHPから！



令和7年度当初予算案(令和6年度2月補正予算案を含む) 主要事業

Ⅲ 人手不足克服に向けた対策

(1) 各業界における人手不足対策

予算額
(単位:千円)
[6年度当初予算額]

障がい福祉人材確保・定着促進事業	(健康福祉部障がい福祉課)	2月補正 13,835
障がい福祉人材を安定的に確保し、障がい福祉サービス事業所等における人材不足を解消するため、人材の発掘・就職・定着に向けた対策を実施します。		当初予算 28,811
事業内容 若年層に対する障がい福祉分野の魅力発信 学生向けの有償インターンシップの実施 障がい者福祉施設における高齢者等の短時間就労(ちょこっと就労)を促進 重度障がい児者受入れ事業所に対し、施設整備等に要する経費を支援 介護ロボットやICT機器の導入等に係る経費を支援		[37,110]
財源 障害者総合支援事業費補助金 等		

㊦ 介護福祉士等修学資金貸付事業	(健康福祉部長寿福祉課、障がい福祉課)	2月補正 60,796
介護福祉士等を目指す学生等に対して、修学資金等の貸付けを行い、介護・障がい福祉分野における介護人材を確保します。		[-]
事業内容 ①介護福祉士養成校等入学者への修学資金等の貸付 修学資金 (月額) 5万円 入学準備金・就職準備金 各20万円 国家試験受験対策費 4万円 ②実務者研修受講費用等の貸付 20万円 ③福祉系高校生への修学資金の貸付 入学準備金・介護実習費 各3万円 就職準備金 20万円 国家試験受験対策費 4万円 ④介護分野・障がい福祉分野への就職支援金の貸付 20万円 ⑤介護分野経験者への再就職準備金の貸付 40万円 ㊦ ①、②の対象に障がい福祉分野を追加		
実施主体 福井県社会福祉協議会		
財源 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金		

㊦ 介護・障がい福祉分野における人材確保・職場環境改善等事業	(健康福祉部長寿福祉課、障がい福祉課)	2月補正 701,563
介護・障がい福祉事業所に対し、生産性を向上し更なる業務効率化や職場環境の改善に必要な経費を支援することにより、職員の離職防止・職場定着を促進します。		[-]
事業内容 人件費や職場環境の改善に必要な経費を支援 補助対象 福祉・介護職員等処遇改善加算を取得している事業所のうち、計画を策定し職場環境改善等に向けた取組みを行う事業所		
補助率 国10/10		
補助額 常勤職員1人あたり5万4千円相当		
財源 介護保険事業費補助金 等(国10/10)		

⑧	障がい福祉分野における小規模事業所の協働化モデル事業 (健康福祉部障がい福祉課)	2月補正 9,000	[—]
	障がい福祉サービス事業所等が協働で行う人材の確保・経営の安定化に向けたモデル的な取組みに対し支援を行い、障がい福祉分野における協働化を推進します。		
	事業内容 障がい福祉サービス事業所等が協働して実施する人材確保・経営の安定化に向けた取組みを支援		
	補助率 国10/10		
	財源 障害者総合支援事業費補助金(国10/10)		

(2) 外国人材の受入強化

⑨	介護・障がい福祉分野における外国人材育成支援事業 (健康福祉部長寿福祉課、障がい福祉課)	2月補正 1,000	
	海外の機関と連携して本県に受け入れる介護人材を現地で育成(日本語・介護技術)し、外国人介護人材の受入れを促進します。	当初予算 40,970	
	事業内容 現地教育機関等が行う日本語講習経費を支援		[36,210]
	現地教育機関等に講師を派遣して行う介護導入講習経費を支援		
	⑩ 現地の外国人を対象とした障がい福祉分野の基礎的研修の実施		
	⑩ 障がい福祉事業所で働く外国人材を対象とした技術向上研修の実施		
	⑩ 障がい福祉事業所を対象とした外国人材受入れ研修の実施		
	⑩ 海外現地において外国人材確保に向けた取り組みを行う団体への支援		
	外国人介護職員からの相談対応や事業所への指導等を行う「ふくい外国人介護職員支援センター」の運営等		
	財源 介護保険事業費補助金		

IV 長期ビジョンの推進

<個性を伸ばす(人材力)>

予算額
(単位:千円)
[6年度当初予算]

(3) 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現

◇多様な価値観が認められ自分らしく生きられる社会の実現

『み(魅・見)せる』共生社会推進事業	(健康福祉部障がい福祉課)	4,398	
	日常生活の中で「共生社会」について考えるきっかけとなる「みせる」しかけづくりにより、多様な価値観を認め合う豊かな社会の実現を図ります。	[4,478]	
	事業内容 障がい者アート活用商品プランコンテストの実施		
	障がい当事者による出前講座の実施		
	改正障害者差別解消法の周知		
	障がい者アートの発信、活動支援等		
	財源 地域生活支援促進事業費等補助金、身体障がい者福祉費補助金		

おもてなしのバリアフリー・合理的配慮推進事業 (健康福祉部障がい福祉課) 21,099
 [60,500]
 障がいの有無にかかわらず、すべての県民および来県者が安心して快適に過ごせるようバリアフリー化を推進します。
 事業内容 民間施設のバリアフリー化に係る工事施工費等への支援
 補助率 県1/2 (物品購入のみの場合は1/3)
 補助上限額 50万円 (物品購入のみの場合は5万円)
 県有施設のバリアフリー改修 (点字ブロックの整備)

⑨ 福井県福祉のまちづくり整備基準見直しのための基礎調査 (健康福祉部障がい福祉課) 8,151
 [一]
 福井県福祉のまちづくり条例に定める整備基準について現状把握や課題整理を行い、見直しの必要性やその内容について検討します。
 事業内容 福祉のまちづくり条例に関する現状把握と課題整理に関する調査

◇多様な人材が活躍する共生社会の実現

障がい者就労支援事業 (健康福祉部障がい福祉課) 12,209
 [13,019]
 障がい者の賃金・工賃の向上を図るとともに、利用者1人ひとりが働くやりがいや生きがいを実感できる幸せ就労の実現を目指します。
 事業内容 デザイナーとの協働による高付加価値商品の開発
 障がい者就労の情報をまとめたWebサイトの運営
 利用者インタビューや活躍の様子など障がい者就労の魅力を発信
 民間企業との業務マッチングを支援
 障がい者就労支援施設の商品を県内外の販売会・イベント等で販売
 財源 地域生活支援促進事業費等補助金

『障がい者×農林水産業』による幸せ就労実現事業 (部局連携：健康福祉部障がい福祉課、農林水産部園芸振興課) 19,475
 [24,023]
 障がい福祉と農林水産業との連携により、障がい者が自分らしく働くことができる場を創出する地域共生型農福連携を推進し、障がい者の更なる幸せ就労の実現を目指します。
 事業内容 地域共生を目指す農福連携事業者を応援するビジネスコンテストの開催
 および伴走支援の実施
 農福連携への新規参入や基盤強化の支援を実施
 農福連携地域交流会の開催
 農福連携の環境整備に必要な設備等の導入への支援
 補助率 1/2
 補助上限額 150万円
 農福連携商談会の開催
 農福連携を試行的に取り組む農家に対し支援
 補助率 10/10
 補助上限額 10万円
 障がい者活用に関する農家向け研修会の開催
 財源 地域生活支援促進事業費等補助金、農山漁村振興交付金

		2月補正
⑨	ICT機器等の活用を通じた障がい者就労の生産性向上支援事業 (健康福祉部障がい福祉課)	2,601
	障がい者就労施設の生産性向上に向けた設備導入を支援し、障がい者の工賃向上を図ります。	[-]
	事業内容 障がい者就労施設に対し、ICT機器等の導入に必要な経費を支援	
	補助率 国1/2、県1/4	
	財源 障害者総合支援事業費補助金	

		14,136
⑩	障害者就業・生活支援センター事業 (健康福祉部障がい福祉課)	[9,424]
	障がい者の職業生活における自立を図るため、就業および職場への定着に向けた就業面と生活面からの一体的な相談支援を実施します。	
	事業内容 障害者就業・生活支援センターの生活支援員による相談支援	
	就業に向けた基礎訓練の実施	
	⑨ 丹南圏域に新たにセンターを設置	
	財源 地域生活支援促進事業費等補助金	

<住みやすさを高める（地域力）>

(14) 誰も取り残されない安心の医療・介護・福祉の充実

◇医療・福祉現場でのDX推進

		2月補正
⑪	介護・障がい福祉分野における生産性向上推進事業 (健康福祉部長寿福祉課、障がい福祉課)	260,358
	「ふくい介護テクノロジー・業務改善支援センター」による介護ロボットやICT機器の導入による生産性向上に関する相談や導入支援等により、介護職員等の負担軽減を図り、介護現場の働く環境改善や魅力向上につなげます。	当初予算 8,358
	事業内容 福井県介護人材確保・介護現場革新会議の開催	[150,386]
	「ふくい介護テクノロジー・業務改善支援センター」の運営	
	⑫ 専門家による生産性向上に関する個別相談・伴走支援	
	※障がい福祉分野を新たに支援対象に追加	
	介護ロボットやICT機器の導入等に要する経費を支援	
	財源 介護保険事業費補助金、地域医療介護総合確保基金	

◇複合化・複雑化した福祉ニーズへの対応

		83,731
⑬	医療的ケア児者およびその家族に対する支援 (健康福祉部障がい福祉課、児童家庭課)	[83,070]
	医療的ケアが必要な障がい児者とその家族が、地域で安心して生活できるよう必要な支援を実施します。	
	事業内容 ⑭ 医療的ケアが必要な重症心身障がい児者に対し、看護職員を配置して、受入や送迎・入浴サービスを提供する事業者を支援	
	(支援単価の引き上げ)	
	⑮ 医療的ケアのない障害支援区分6の重症心身障がい者に対し、入浴サービスを提供する事業者を支援(1,200円/人・回)	
	医療的ケア児者に対応できる医師や看護師等の養成	
	⑯ 医療的ケア児者支援センターの運営(嶺南にサテライト拠点を設置)	
	医療的ケア児を受け入れる保育所等に対する看護師の配置支援等	
	財源 保育対策総合支援事業費補助金、地域医療介護総合確保基金等	

⑧	医療的ケア者グループホーム支援事業	(健康福祉部障がい福祉課)	244
	医療的ケアが必要な方のグループホームの整備を促進し、親亡き後も見据え安心して生活できる環境を整備します。		[－]
	事業内容	医療的ケア者グループホーム設置検討会の開催	
		医療的ケア者グループホーム施設整備支援(制度創設)	
	実施主体	医療的ケア者に共同生活援助を提供する法人	
	補助率	県3/4	
	補助上限額	補助対象経費の3/4もしくは社会福祉施設等施設整備費国庫補助金に準ずる金額の低い方	
	財源	地域医療介護総合確保基金	
		医療的ケア者グループホーム運営費支援(制度創設)	
	実施主体	医療的ケア者に共同生活援助を提供する法人	
	補助率	定額	
	補助上限額	1年目: 1,000万円 2年目: 500万円 3年目: 200万円(黒字とならない範囲まで)	

⑧	医療的ケア児者への災害時電源確保支援事業	(健康福祉部障がい福祉課)	6,150
	人工呼吸器など命に直結する機器に頼らざるを得ない医療的ケア児者に対して、災害発生時に備えた電源確保を支援します。		[－]
	事業内容	医療的ケアが必要な重度障がい児者に対し、生命・身体機能の維持に必要な非常用自家発電装置や外部バッテリー等の購入経費を支援	
	補助率	県3/4(市町1/4)	
	補助上限額	10万円/人	
	財源	地域医療介護総合確保基金	

	地域自殺対策強化事業	(健康福祉部障がい福祉課)	32,506
	相談体制の充実や、ライフステージ別の対策、民間団体の活動への支援等により、自殺の防止を図ります。		[30,322]
	事業内容	地域における総合的な支援体制の強化 YouTube広告による相談窓口の周知啓発 男性専用電話相談の実施 ライフステージ別の対策の充実 メンタルヘルスセミナーやストレスチェックの実施 若者の自殺危機対応チームの設置 ハイリスク者への支援の充実 自殺未遂者支援の実施 SNS相談体制の整備 民間団体が実施する電話相談等への支援	
	財源	地域自殺対策強化交付金	

	総合福祉相談所機能強化事業	(健康福祉部障がい福祉課)	243,230
	障がい者の医療と福祉の連携体制を強化するため、総合福祉相談所の障がい者支援部門をこども療育センター建物内へ移転します。		[184,850]
	事業内容	改修工事	
	事業期間	令和5年度 改修工事実施設計 令和6年度～7年度 改修工事	
	供用開始	令和7年11月(予定)	

社会福祉施設等施設整備事業

(健康福祉部障がい福祉課)

2月補正

355,235

民間社会福祉施設の整備を支援し、利用者が安定した日常生活を送ることができる環境を確保します。

補助対象 障がい者福祉施設の改修等(3施設)

補助率 国1/2、県1/4

財源 社会福祉施設等施設整備費国庫補助金

当初予算

167,062

5年度2月補

[122,042]

6年度当初予算

[633,600]

医療機関・福祉施設における省エネ設備等導入支援事業

(健康福祉部地域福祉課、長寿福祉課、障がい福祉課、児童家庭課、健康福祉部健康医療局地域医療課、医薬食品・衛生課)

2月補正

436,530

原油価格・物価高騰等が続く中、医療機関・福祉施設の省エネ設備の導入を支援し、コスト削減による経営の安定化を図ります。

事業内容 省エネ効果の高い設備の導入支援

補助率 県1/2

補助上限額 200万円(下限20万円)

対象経費 高効率空調・換気設備、LED等

財源 重点支援地方交付金(10/10)

[—]